

事業番号	231
------	-----

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	交通安全推進事業							担当部	環境交通部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	交通防犯課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	交通防犯係			
	総合計画 分野別計 画	主目的	2 環境交通		9 防犯・交通安全		3 交通安全意識を高める					
		副目的										
	予算区分	款	2	項	7	目	4	大	3	中	1	
	根拠法令・個別計画											
	実施・運営 方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="checkbox"/>	一部又は全部委託		
		<input type="checkbox"/>	指定管理・外郭団体			名称:						
		<input type="checkbox"/>	NPO・その他			名称:						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	交通安全キャンペーンや交通安全教室等を実施し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを習慣付け、市民の交通安全に対する意識の向上を図る。											
内容 (手段)	<p>春・夏・秋・年末の交通安全運動キャンペーン、子どもや高齢者等に対する交通安全教室の実施などにより交通安全啓発を行った。また、高齢者のドライバーへ運転免許証の自主返納を呼びかけたり、高齢者が被害に遭わないように反射材などを配布して交通安全意識を高めた。</p> <p>【運転免許証自主返納支援内容】</p> <p>①交通安全啓発物品の贈呈(反射傘)</p> <p>②写真付住基カードの無料交付 (※②は、小牧市住民基本台帳に記録され、住基カードを持っていない方に限る。)</p> <p>ただし、上記支援は、1人1回限り</p>											
受益者負担	無	内容										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	8,350	8,129	7,907	
		正職員	従事者数	人	0.35	0.35	0.35
			人件費	千円	1,877	1,877	1,877
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0
		費用合計	千円	10,227	10,006	9,784	
	対前年比	%		97.8			
財源	一般財源	千円	10,227	10,006	9,784		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0		

業	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23
		交通安全キャンペーン活動	回	目標			12
実績					12	12	
交通安全教室	回	目標			30	30	
		実績			29	33	
績	成果指標	目標					
		実績					
業	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23
		交通事故件数	件	目標		—	1,040
実績				1,163	1,186		
績	成果指標	運転免許証自主返納者数	人	目標		50	50
				実績		16	35

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	警察署や交通安全関係団体との連携により、主要道路での交通死亡事故現場付近における啓発活動や自転車安全運転教室など目標としていた交通安全キャンペーン活動は達成できた。また、運転免許証自主返納制度においても高齢者のドライバーへの呼びかけにより、返納者を増加することができた。				
	事業を廃止・休止したときの影響	交通事故は、主にドライバーや歩行者などのマナーの悪さやモラルの低下により引き起こされると考えられるため、マナーやモラルに対しての交通安全意識の向上を図らなければ、子どもや高齢者などの交通弱者と呼ばれる方たちの交通事故の増加につながる。				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	交通安全キャンペーン活動のマナー化を防ぎ、いかに効率よくドライバーなどへのマナーやモラルの交通安全意識の向上を図るかといった問題が課題となる。				
今後の事業の方向性（今後の取組み・改善計画等）	マナー化を防ぐため、交通安全キャンペーンのイベントの内容の見直しや参加者の拡大など検討し、ドライバーや歩行者への交通安全意識を浸透させるため、交通安全キャンペーンを機に交通安全の必要性和事故防止を図っていく。					

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)		
	判定理由	一次評価のとおり			